

令和2年度 第5回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和2年10月21日（水） 18:00～19:00

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

【出席者】 10人（15人中）

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	
委員	相原 雄太		委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	
委員	東 幸子	○	委員	今 光江	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき		委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企 画 経 済 部 ～芳賀 企画担当主査・瀧坪 厚田浜益担当主任

厚 田 支 所 ～東支所長

地域おこし協力隊 ～江崎隊員・吉川隊員・飯塚隊員・秋葉隊員

事務局（地域振興課）～高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 3名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換（リラックスタイム）
 4. 協議事項
 - ・地域づくり基金活用提案について
 5. 報告事項
 - ・市からの情報提供
 - ・厚田区内イベント情報
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、本日、八木沼委員、平賀委員、丸山委員、相原委員、大内委員から欠席の連絡を受けているので報告する。

また、毎回企画経済部から中西次長に来ていただいているが、今回欠席ということで、企画経済部企画課から芳賀主査、瀧坪主任に出席いただいているので、自己紹介をお願いします。

～ 企画経済部企画担当 芳賀主査、企画課厚田浜益担当 瀧坪主任 自己紹介。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

それでは、只今から第5回厚田区地域協議会を開催する。始めに築田会長から挨拶を申し上げます。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

こんばんは。今日は5人も欠席でいつもより寂しい会議だが、久々に東委員が出席で嬉しく思う。夜も日が暮れるのが早くなり冷え込むようになった。三密を避けるため会場も風通しを良くしているので風邪を引かないように。

それでは早速始めたい。

3. 情報交換 (リラックスタイム)

- ・農作物の状況について～稲刈は全て終了し農協や卸業者への搬入も終わった。その他の農作業も終わり、今は畑の片付けを行っている。米は豊作だったが今日のNHKニュースで米の下落が出ており残念。(東委員)
- ・CS避難訓練について～10月16日厚田学園と地域が連携して避難訓練を実施。思ったよりスムーズにできた。全体で104名の参加。終了後は会場で避難所設置の物品を全員で確認した。今後もつながる形で実施したいと思う。(築田委員)
- ・CS避難訓練について～1・2年生の担任としての目線でお話する。学校だけの避難訓練は子どもたちはサイレンを聞いたり、一緒に走って逃げたりというのが、若干楽しい雰囲気という感じだったが、今回は地域の方々も参加していることで「ちょっと怖かった」「災害の時本当にこうやって集まるといのがわかった」等の感想があった。1・2年生も緊張感をもって参加していたことや、海に面している学校なので危ない時一人一人が自分自身を守る行動をとれるよう普段から意識付けしていくのが大事ということを教員も改めて感じれる取り組みで、とても効果のある避難訓練だった。(加藤委員)
- ・CSソクラテスミーティング～避難訓練終了後に実施。子どもたちがいろいろな職業の方から話を聞くという機会。私も住職として参加し子どもたちに質問を受けたりいろんな話をした。元全日本バレーボール選手の成田郁久美さんにも参加いただき子どもたちも大喜びであった。著名な選手や地域の方と話げできたことは、子どもたちにとって貴重な機会になった。(渡邊委員)

4. 協議事項

地域づくり基金活用案について

【 渡邊副委員長 】

築田会長が厚田アクアレールの実行委員長ということで、提案する立場であるため、ここからの議事は一旦私に代わる。それでは、築田実行委員長よろしく願います。

【 築田会長 (厚田アクアレール実行委員会 委員長) 】

資料1 令和3年度 当初要求 事業予算調書 (厚田アクアレール実行委員会) 参照

厚田アクアレール実行委員長の築田です。皆様には日頃より当会の活動に対しご支援・ご協力を賜り、この場をお借りして、感謝とお礼を申し上げます。本日もご提案させていただき、あつた水彩画展芸術文化振興事業は2か年で1セットの事業で、初年度に作品募集、2年目に展覧会を開催しているが、既に委員の皆様ご存じのとおり、今年度実施する予

定であった第5回展覧会については、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月27日開催の実行委員会で、「全国的にイベントや同様の展覧会等が中止となっている状況を踏まえ、現状では展覧会を開催することは妥当ではない」との判断に至り、止む無く、来年度に延期することとなった。公募の締切まで1ヵ月を切っていること、既に作品の応募が数点あったこと、加えて何よりこの時期は応募を目指している皆さんが作品を仕上げる最終段階の時期であることなどを踏まえ、中止ではなく1年の延期とし、作品募集については1年の延長とした。このため、今年度は当初予算として全体事業費150万円、基金の活用は75万円で計上していたが、延期の周知や、再度募集のための事務を行い、全体事業費30万円、基金の活用は15万円として、石狩市に補助金の変更申請を行い、現在事務を執り進めているところである。従い第5回展については3年で1セットの事業となることをご理解いただきたい。

まずは、改めて延期に至った経緯と令和2年度の予算状況をご説明させていただいた。

それでは、来年度、令和3年度の展覧会実施のための予算についてご提案させていただく。資料1をご覧ください。まず、事業の実施概要について簡単に説明する。事業目的は、誰もが気軽に取り組める水彩画の展覧会を厚田区で開催し、全道・全国の方が厚田を「訪れる・知る」機会を創出すること、市民が優れた芸術・文化に触れ心豊かな人間性や開催地としての誇りの醸成や活力あるまちづくりを進めることである。現段階での令和3年度展覧会の具体的なスケジュールは、募集は継続、締切は令和3年5月20日まで、作品審査は6月中旬、会場設営は7月1日から7月23日、表彰式を7月24日(土)、展覧会を7月25日(日)から8月8日(日)までの15日間、会場は厚田総合センター2階ホールを予定している。事業内容の詳細については添付のチラシ裏面を参照いただきたい。

令和3年度の予算は、令和2年度当初の要求額と同様、全体事業費で150万円を見込み、基金の活用は1/2補助で75万円として提案する。

以上、ご審議の程よろしく願います。

【 渡邊副委員長 】

提案あった内容について意見や質問等があればお受けする。なければこの事業については承認ということでしょうか。

【 全委員 】

意見、質問なし。全会一致で提案どおり承認。

5. 報告事項

市からの情報提供

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

今年3月閉校した、施設の利活用に向けた動きについて報告する。

各施設の応募結果については、旧厚田小に1社、旧聚富小中に3社、計4社から応募があった。厚田保育園については、第1希望の申し込みは無かったが、聚富小中に応募した1社が第2希望で厚田保育園を希望していた。

以上が応募結果。この応募を受け9月下旬審査を行い、既に3施設とも優先事業実施候補者の選定結果が10月15日付の石狩市ホームページで公表されている。

簡単にそれぞれの施設の活用提案の内容を紹介すると、旧厚田小についてはアウトドアをベースにした観光・滞在の拠点として事業展開を目指す事業者、旧聚富小中については、統合医療を基盤とし、薬に頼らず、厚田の自然環境を活かしながら、心のケアも取り入れた新たな医療を目指す事業者。旧厚田保育園については、芸術・文化に取り組む、滞在アートスタジオ、共同アトリエとして施設活用を目指す事業者と伺っている。

今後の予定として、それぞれの地域で事業実施候補者による「地域説明会」を11月上旬から中旬に開催するほか、契約内容について候補者と詳細を詰め、年度内の契約を目指す事となる。

厚田区内イベント情報

ATSUTAショートプログラムについて

【地域おこし協力隊 吉川隊員】

ATSUTAショートプログラムの本ツアーを行うのでお知らせする。10月24日（土）に飛ぶ鳥農場の角野さんの農場を会場に卵収穫体験とおかずの駅「ほっ」で朝食を食べるというプランを実施する。9月19日に実施したモニターツアーを経て、良い企画となるよう準備を進めている。

11月14日（土）には高田農場を会場に、札幌大球の収穫体験とロールキャベツ作りを行う。ロールキャベツは秋葉隊員に協力いただく。

このプログラムは少人数で時間を短く、体験終了後は自由に区内などを周遊観光してもらおうが狙い。

【角野委員】

農場に見学に来る方は多いが、今回のような体験プログラムとして開催するのは初めて。自分自身もこういう企画をやりたいと考えていたが、吉川隊員が企画してくれたので実現できた。自分が子どもの頃、ニワトリが卵を産む瞬間を見て感銘を受けて今に至る。ぜひ子どもたちに産まれたばかりの卵の温かさ、柔らかさを感じてもらいたい。

実施に向けて吉川隊員としっかり打ち合わせをして良いイベントにしたい。

アツタツアー第5号の発行について

【地域おこし協力隊 飯塚隊員】

厚田の魅力伝える冊子を毎月作っている。第1号は100部からのスタートだったが、地域内の方や施設からの要望で、200部、500部と増え、今回は1,000部発行した。これから市内各施設や厚田区内のお店にも配布する。

結構若者向けの作りになっているため、文字が小さい等の指摘を受けているが、年度末には各号をまとめた新しいガイドブックとして発行を考えているので、その際もっとわかりやすく編集したい。

また、広告コーナーがあり、広告を募集しているので、委員の皆さんからも載せていただける方の情報があれば連絡いただきたい。

地域食堂の開催について

【地域おこし協力隊 飯塚隊員】

10月27日（火）虹が原で地域食堂を開催する。地域食堂は地域の方々が集まり食事をとりながら交流を深めたり、地域内と地域外も交流できる場所としての提供を目指す。コロナ禍で今年は実施できないと考えていたが、地域食堂のきっかけ作りとして、第1回目として弁当による配食の提供とした。地産地消にこだわったメニューを基本に、次年度は毎月恒例のイベントにしていきたい。また、他の地域でも実施していきたい。

6. その他

【（厚）地域振興課 高田課長】

今回は、11月24日（火）17時30分から、厚田総合センター2階ホールで提案させていただく。

7. 閉会

【築田会長】

予定よりかなり早いですが、これで本日の協議会を終了する。委員の皆さんご苦労様でした。

○次回の日程について

令和2年11月24日（火）17時30分～ 厚田総合センター2階ホール

令和2年11月24日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

築田 敏彦